夕刊 いわき民報
発行所 平市田町六三
いわき民報社
編集部 電381
広告専用電1222

古い信用と最新のモード
CHOYA
蝶矢印の ワイシャツ
中野洋品店
平二・電五三

平市内の八十町内に衛生班組織を促進

梅雨期に備え傳染病豫防へ

平市衛生課では梅雨期に備え傳染病（赤痢）発生防止策として今年は「明るい住みよい平市建設運動」の二年目に当っているので市内八十町内全地区に衛生班組織の促進を計ることになった。現在は全体の二十%、十五町内しか結成されてないので、隣組、婦人会、青年会、消防團などと協議し、隣組単位に班長を選び、自主的に組織を設けるよう要望している。

特に昨年なやまされた日本脳炎では同課の係員も早いところ予防注射をして、対処しないと傳染する恐れありとして平保健所で近く措置してもらうことになったが、注射して四カ月たゝぬと免疫性にならぬという。全市民がやるにはその注射液も少なく、一回七十七円もするというからこれはのぞみ薄。蚊とハエの撲滅という根本対策からやることが先決だと同課で熱を入れているのもそのワケ。

工員で四萬圓台

セメントで夏期手當出る

磐城セメント四倉工場（工場長太田竹二郎氏）では去る四日、地方の先端を切って夏期手当を支給した。昨年と同じ日に支給したもので支給額も昨年同様、工員で三カ月、職員で四カ月平均という高率工員で四万円台。職員では課長クラスで十八万円から二十万円。係長クラスが十二万円。工場長は三十五万円といわれ、いずれも税込みとされている。三白景気はどこまで続くやら景気のよい話で街は活気づき、各産業界にもうらやましがられている。

會社案を呑み妥結

呉羽は一人一万六千圓

呉羽化学労組の夏期手当、昇給増額要求は五日会社最終案を呑み妥結した。妥結額は夏期手当一人平均一万六千円（昨年より五千五百円増）昇給増額分一人平均一千八百円だった。

縣税の徴集好成績收む

石城郡の三十年度県税徴收結果は八十五・二%と目標を上廻る好成績をおさめた。これは過年度繰越分（前年度の焦げつき滞納）を除くと九十三%の徴收率になる。内訳は三十年度調停総額（過年度分六千九百五十九万円を含む）四億二千百九十二万三千円に対し徴收額三億五千九百四十八円、繰越残額六千四十四万三千円（十四・八%）で前年度徴收率の八十三・二%を二%上廻っている。徴收課税のなかで最も良かったのは法入事業税の九十九・八%、最も悪かったのは鉱区税の八〇%で過年度繰越分の徴收率は二十五・八%だった。

滝尻の入居者

磐城市滝尻字六枚内地内に建設した県営住宅の入居者は次の五名と決り四日発表された。同住宅は十一坪二合五勺の木造平家一戸建である。

酒井豊（泉駅）森山寺祐（青果市場）石井弘（日本水素（高須徳治（小名浜港工事務所）磯上健男（日本水素）

平は廿八度

氣溫急に上る

六日朝から気温が上昇し石城地方は七月初めの陽気で平では二十八度だった。小名浜測候所の観測では最高気温二十五度一分で平年の二十一度より四度一分も高い。これは入梅の合間に見られる夏型気圧配置によって上昇したもので、八日ごろからまた天気は崩れる見込み。

諸橋市長視察

諸橋市長、荒井農務課長は六日、豊間、赤井、平潟地区の養蠶事情を視察した。

二カ月で埋立

一萬トン岸壁へ浚渫船到着

磐城市小名浜港一万トン岸壁の埋立作業を行う臨時土木工業所のポンプ式浚渫船淡路丸（二百二十トン）が三重県桑名港から五日朝小名浜港に廻航されてきた。さっそく浚渫準備にとりかゝり十日ごろから操業するが陸上から同船へ三千三百ボルトの送電線を送り、五日馬力サンドポンプで一日二千立方米の泥水を吸上げる能力をもち昼夜兼行で作業を続け約二カ月かゝって十二万立方米の砂を一万トン埠頭へ送り込み四千坪の埋立を完成させるもの、このため三千トン岸壁附近の水深現在六・五米は七・五米に一万トン岸壁附近は六八米は九米とそれぞれ浚渫される。工費一千五百六十万円、なお同船は船底から二千の〃足〃が出てこれを軸として約百三十米にわたって自由自在に方向転換して[illegible]千歩〃できるという新式機械を[illegible]つけている

【写真は小名浜港に到着した淡路丸】

平神橋下の十三世帯

増水恐れ移轉を陳情

市でろ過槽を贈る

平市衛生課では夏井川平神橋下にその日活しのどん底生活をしている十三世帯が、梅雨期を前に夏井川の増水を恐れ、どこかに移住せねばならぬと頭を痛めていたが、この程一行が諸橋市長に陳情、どこにでも良いから雨風をしのげる住宅を建てゝくれまいかと訴え出た。この人たちにとって一番つらいのは飲料水、夏井川の水を砂で濾過して飲んではいるが、雨がふるときたなくなるのでどうにも使用できず、市長に陳情した時にもきたない水を持参して〃市長、この水を一度のんでくれ〃とすごい見幕だったが、市長は早速、衛生課に簡易な濾過器をつくらせることにして急場をしのがせることにし、簡易住宅も考慮することになった。衛生課では小松委員長からミソ樽の寄贈をうけ、五日朝から須藤課長、原田主任ら総がかりで木炭や砂利、など配合、二つほどつくって設備してやった。

【写真は濾過槽をつくっているところ】

十日は時の記念日

平驛前で無料検定を行う

十日は時の記念日―平地区時計商工業記念（平、内郷、好間の三十五軒）ではこの日朝九時から午後四時まで平駅前に無料検定所を設けサービスするほか、宣傳カーやオートバイのキャラバン隊を繰り出し平市内始め内郷、好間、片浜方面を巡廻する。

時計は本年七月免税点が引上げられたゝめ、ものによっては一割ほど安くなるのもあると組合では言っている。

【写真は時の記念日のポスター】

文化財權威の講演會開く

十日白水で

内郷市では六月来に完成予定の国宝白水阿彌陀堂の屋根葺かえ工事完成を控え、十日午前九時から同境内に重要文化財の権威者による講演会を開く。講師と演題は早大教授工学博士田辺泰氏「白水阿彌陀堂建築と浄土式庭園」文部省技官岩崎友吉氏建築における彩式の保存」同伊藤延男氏「国宝建造物の保存と諸問題」同乾兼松氏「白水阿彌陀堂の建築」なお雨天の際は願成寺内で行う。

社會黨支部

十日に講演會

社会党石城支部では十日午後六時から平市公会堂本館で〃市民の皆さんに訴える〃講演会を開く。講師は山口シヅエ、平田ヒデ、松井政吉、田畑金光の四代議士。

新建築材料説明會開く

県建築士会浜通支部（支部長近藤一利氏）では十日午前九時から常磐炭鉱金谷保養所で新建築材料に関する説明会を開く。同説明会は日進月歩の新建築方法と材料について東京、仙台の一流メーカーを招いて浜通り建築士が説明をうけ今後の浜通り新建築に取り入れようというもの。

議會協議會

あす四倉町

四倉町議会協議会は七日午前九時から開き、中島から八茎銅山に至る延長十二キロの道路改修の件を協議する。

天気予報

六日

「今晩、明日」南よりの風、晴だが雲の明いこともある。海上は今晩明日ともおだやかな方

岡力見物

火野あし平氏ら四作家の文化講演会は尼子会のキモいりで五日夜平市公会堂で開いたが、入場無料で一流作家の声がいに接することが出来るというのでか聴衆は一杯、盛況だった▼文士の話というのは概してへ々くそなものだが文春社は年中行事の様に文士を連れて全国を廻っているので場なれしたためか同夜の講演会はなかなか重量感があり聴衆を満足させた様だった▼終って谷口で歓迎会を開き文芸の愛好者四十名ほどが出て歓待、諸橋市長が市民を代表して労をねぎらう挨拶を述べたのち記念写真を撮ったり美妓の常磐炭鉱踊り、白虎隊、平音頭などの芸当をやって見せた▼文士たちはその好意に喜んだようだったがこのほか郷土芸術には〃じゃんがら念佛〃というクラシックなものがあると誰かが説明すると火野氏は急にひざを乗り出しそれを見たいといい出した▼農繁期でそれは駄目だというワケでがっかりした様子だった。音頭や小唄はどこへ行ってもあり、また、皆似た様なもので都会人には食傷気味、ソコにも此処にも無い念佛踊りの様な一風変ったものを見たいのが人情だ▼それを見せて他国の客を喜ばせ観光石城に更に一ツの花を添えることがよい。農村にある〃じゃんがら念佛〃でないと本当の気分は出ないかも知れないが芸者でチームを造って見せたらどんなものか▼東山温泉では仮装盆踊りがその家の芸妓や従業員でチームを造りサービスする。これがよその人には大へん喜ばれる。平でもすぐ〃じゃんがら念佛〃を見せることが出来る様工夫すべきと思う。

土地つき 家の月賦
太平住宅
平支部 平市白銀町10 TEL2090
社員募集
一、男子社員五名（二四才…四〇才）
一、幹部社員二名（二四才…三〇才）（旧専卒又は短大卒以上）
一、面接日 六月八日午前一〇時…一二時迄
右希望者は履歴書持参の上平支部に来社を乞う

運轉手募集
▽年令 二十才以上 三十五才まで
▽委細面談
▽履歴書持参、來社乞
株式会社 三井タクシー
平市一丁目電六八五

開店お知らせ
かねて開業準備中のところ六月六日開店致しました
皆様方の御引立の程御願い致します
平市仲田町（シスター）
吉田理容院
技術者見習生募集

初夏の味覚
◇冷しそば を初めました…
レストラン ブラジル
平市並木通り電話九九〇番
出前迅速

アキヤマの運動靴 丸高
TEL 649

經理・税務・會計監査
お気軽に御相談下さい 懇切に指導研究致します
公認會計士 高橋義
平駅前三延ビル三階電一〇一七

"安樂死"の公許
＝病人の幻想寝言＝

樫村清

随想

金があつて暇があるなら退屈なんてどこ吹く風で、遊ぶに事は欠くまい。よしやあり余る金がなくとも健康体であれば、それ相応の暇つぶしもあろうが、一番困るのは病人の退屈さだ。私はその退屈さに困る病人の一人なのである。とんでもない奇病に罹つて今は回復途上…平熱に近くて食慾も普通、特別の自覚症状とてないもの、尚安静を要するので、毎日医師の往診を受けて病床に横たわつて居るのだから、益々以つて無りように苦しむのだ。

娯楽雑誌を見る。一日一冊は軽く読める。都合のよいことに私は頗る物覚えが悪く出来ているので、読んでもすぐ忘れて了う。程経て同じものを読んでも新らしい感興を覚えるが中途で「なあんだ、これあ読んだ事があるぞ」と馬鹿馬鹿しくなつて止めて了う事がある。

読み疲れゝば頭がポーンとする。ラジオをかけて見てもわけのわからぬ歌謡曲などばかりが出ると起きて放送を切換えるのも億くうだからそのまゝ寝てゝスイッチを切つて了う。さあこうなると事だ。なんの変哲もない天井と睨めつこでとめどもない幻想を追う。うとうとゝ半分眠つているのかも知れないが、案外実感でもあるらしい。

奇想天外とも云うべき「安楽死」の妙薬を政府が公許したらよかろうになあ…との着想はこの夢幻の境に於ける一つの所産に過ぎないのだ。これは人間が死にたい時に自由に楽に死ねる妙薬の調剤を政府が医師に公許したらいゝと云うのである。

この妙案？の説明をする前に私自身の病気について一言触れて見たい。三月下旬気管支炎で病がしたのが肺炎を起して四〇度の高熱で連日苦しめられた。町内（平市仲間町）の佐藤医師の熱心な診療で事なく済んだものゝ奇妙な現象が起つた。

普通に寝て居ても起きて居ても咳も痰も出なくなつたのに只右横向に寝た場合に限つて咳が出る。咳につれて痰が出るのだがその量が相当に多い。然もそれには血が混つているのだ。この血は気になるが別に結核菌も化膿菌もなく、レントゲン透視診察の結果は左胸下部の空洞にこの血の混つたしよう液が溜つているのが判つた。このしよう液が右に横がすると気管に流れ入つて咳を催し、痰となつて排出されるのである。

この現象は右横がした時に限られるので、一日に一回か二回自分の好きな時に自由に排出する事が出来るからこの点は大変に調法だ。医者はこうした症状の病人は手掛けた事がないというし、医書にも見当らないらしいからまあ一種の奇病に属するものなのであろう。

服薬、注射、輸血に明け暮れて病が茲に六十余日、尚この症状が続くので「安静」を余儀なくされている。そこで話は「安楽死の妙薬」に戻るのだが、「死ぬ薬なんて考えるヤツがあるか、俺達は生きる事に懸命なんだぞ」と世の病人諸君から叱られるかも知らんが、そこは同病相憐む立場の病床にある一人の寝言なのだから大目に見て貰いたい。

さて本論だ。生を喜び死を哀しむは人間自然の情愛だが、然もその哀しい死は何人にも避け難い必然的の現象なのだ。不慮の事故死や厭世自殺と云つた不自然なものは別として、病気になる。それが重くなつて死ぬ。寿命が来て大往生をすると云うのがまあ人間一生の最後の型であろう。

私はそこで思うのだ。「どうせ一度は死ぬものならこの世に未練が無くなつた時、アッサリと近親知友に暇乞いして安楽に死ねたらなあ」と。

苦しんで意識不明のまゝ死ぬなんてなんの事だい。万物の霊長たる人間様がそんな事じやだらしがないじやないか。病気の治る見透しがなくなつた時、例え治るにしても不具廃疾となつて活動性を全然失つてしまうような場合、自分自身の自由意志で死を選ぶ事にしたいのだ。それも人に隠れて自殺なんて云うんじや意味が無い。

死の日時を定めて近親知己を枕頭に集め、愉快に談笑のひと時を過ごしてこの世の名残りを惜しんだ後に「永々お世話になりました」とニッコリと一服呑めばその儘眠るが如く静かにあの世とやらに旅立てる「安楽死」の妙薬があつたらと思うのだ

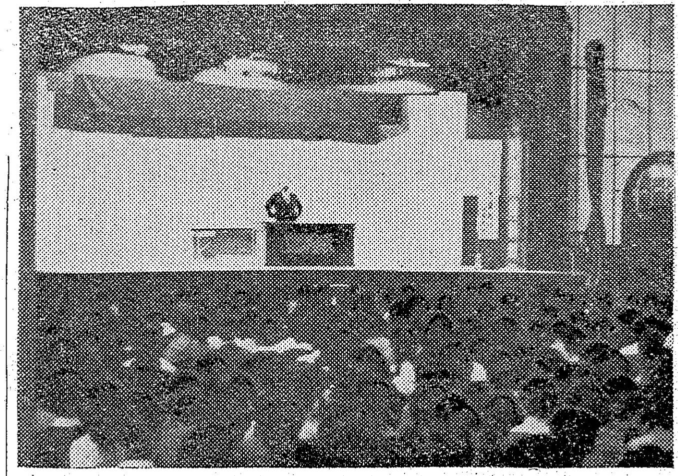
いやこの薬を飲んでもいゝ制度即ち国の公許が欲しいんだ。勿論その乱用は困るから近親者の同意とかその他法文化には幾多の規制もあろうが、それは法律技術家の領分に属する。「病人を殺す気か」と怒つちやいけない。適用を受けるかどうかは全く本人の自由なんだから。

さてこの妙薬が公許になつたらと考えて来た時、こりや大変だぞ「安楽死」これはいゝと用い出したら世の重病人が一度にどつと減つてしまう。お医者さんのフトコロに大影響だ。医薬分業や健保料金の騒ぎ処じやあるまい。国会名物の乱斗騒ぎの再演で、この妙薬の法案も陽の目を見ずに流されるだろうと折角の幻想の夢もこゝでおじやんとなつて了つた。よしやこの「安楽死の妙薬」が世に出ても当分そのやつ介にならずに済みそうな私ではあるが、こんな想いに耽るそれ自体、近ごろ流行のノイローゼとかいうヤツにひつかゝつているのでもあろうか。

（筆者は元浜三郡町村議会議長会長）

マグロ豊漁
當分つづく模様

五日夜から六日朝にかけ小名浜、中ノ作両港はマグロの豊漁で賑つている。小名浜港には八戸港所属の旋網漁船宝福丸ほか一カ統が本マグロ六千貫を始めメジマグロ一万二千貫、カツオ六百貫を水揚げ魚市場はゴツタ返し、本マグロは五百五十円－二百円、メジマグロ二百六十五円－二百四十円、カツオ二百七十五円－二百六十五円で取引され、中ノ作港には本マグロ四千五百貫（六百六十円－百七十円メジマグロ一千五百貫（二百六十五円）が水揚された。旋網漁船で本マグロを本県沖から漁獲したことは大正年間以来始めての珍らしいことで、本マグロはいずれも目廻り十二貫前後という大物揃いだつた。このマグロ漁に対し県水試では六月中旬ごろから仙台湾沖合に北上するが、ここ約半月間は豊漁が続くものと見られ、先ゆきが大いに期待される。なお現在の海況から見れば今年は冷害はない模様だと語つていた。



文化講演會は大盛況

文芸春秋社主催の文化講演会は五日午後六時から平市公会堂に開かれた。講師は火野あし平氏ら四名の作家、漫画家、文芸評論家とあつて空前の人気、会場は上下とも満場立錐の余地ない大盛況だつた。時局問題、人生問題など多面的に亘りしかも鋭い観察眼をもつて軽妙しやだつな話術に聴衆を魅了させ、拍手喝采に湧いた。終つて午後九時から谷口に講師を囲む歓迎会が行われたが、会費二千円にもかゝわらず、四十名からあつまり特に青年の出席が目立つた。諸橋市長も親しく挨拶を述べ一行を歓待した。

【写眞は文化講演会場】

商工

『現像の店くわな開店』平市二丁目西村横町に現像と引伸の店「くわな」＝桑名房之助氏＝が六日新装開店。近日中貸暗室を設備する。

『中川屋で店舗改装中』平市田町税務署となり中川屋提灯傘店では店舗の外装を新装中。

『大丸給油所七日開業』平市長橋町尼子橋際にかねて工事中だつた大丸平第二給油所は七日開店。オートリフト、カー・ウオツシヤー、ルブリケーターなどの新設備をもつ。電話一三六二番

役員を改選
PTA連絡協

石城地区PTA連絡協議会の総会は五日午前十時半から平一小講堂に開き、規約審議、前年度決算報告、度予算審議のゝち、役員を次の通り選出した。

▼会長　阿部傳六（平一中）▼副会長　鈴木嘉勝（小名浜一小）佐藤直之助（四倉中）大和田裕光（湯本一小校長）

自在かぎ

文化の恩恵

最近、民主々義とか文化国家とかと云う言葉を、ひところのようには耳にしなくなつた。これは、最早この国では民主々義や文化国家は完成されたのか、それとも、戦後十年こね廻して見たが、どうにも手に負えないと降参したのか。

文化の恩恵が、大衆によつて普遍的に享受されるのでなければ、真の文化国家とは云えないと思う。一部の階級や一部の地域のみがその恩恵に浴するのでは、文化はあれどもなきが如しである。

文化の普遍化をさまたげる原因は大体二つあると思う。地域的原因と経済的原因である。

一流の音楽演奏や、優れた演劇や、国際的なスポーツや、完備した博物館は、東京か或は他の二三の大都市でないと、吾々は耳にし目にすることは出来ない。自動車や、テレビや、電機冷蔵庫は、今では文化生活の必需品だろうが、誰でも買えると云う代物ではない。

地域的な障害は、地方の文化團体などの努力によつて、多少はとり除かれる。文化運動と云うものが、それだけのものとは勿論私は考えないが、只それだけの意味ででも、尼子会やアポロ会の努力は、尊敬と感謝に価すると思う。

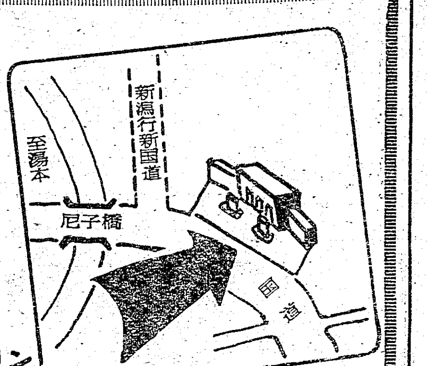
経済的障害に至つては、十数万円もするテレビが、一応十数万円を投じ得る階級に行き亘つてしまえば、次の階級にその販路を拡大するために生産者は、必然値下げをしなければならない。吾人は夫を待つて居る。と云うような消極的な方法で、遠からず解決されるだろう。尤も、聴視区域が拡大することによつて、まだまだ十数万円階級は獲得されるから、値段は下らないと云う考え方も成りたつだろうが。

進歩した世界的水準の医療は、これも文化の産物であるその恩恵を享けるのに、地域的とりわけ経済的障害があつてはならない。医学の進歩によつて医療が高価になり、社会保険が赤字を出すのは当然である。今政府は、この赤字補填を、政府自らの手をもつてせず、その大半を、受療者の負担と医療担当者の犠牲によつて解決しようとして居る。これは明に社会保障の後退であるとして、全国八万医人が総力をあげて戦つて居るのが御存知の社会保険改悪反対運動である。

文化の普遍化をさまたげるものとして、地域的障害と経済的障害のうしろに、一層大きい何かがあるように思われるが、これを政治の貧困と云うのかどうか私はよく知らない。（内木宗八）

7日新築開店

今や全国に最高の性能を誇る
出力25％増
ゼネラル ニューパワーガソリン



あなた様に奉仕するために新築した店ですから…あなた様の御愛用車サービスステーションとおきめ下さいまして何なりとお氣軽に御用命下さいませ

年中無休　晝夜營業

◇近代的設備◇
★自動車の足廻り整備には…オートリフト!!
★御愛車の清潔車輛の經濟性にはカー・ウオヅシヤー!!
★シャシー注油に高能率を持つ…ルブリケーター!!
只今粗品贈呈新築記念大売出し中です

大丸石油平第2給油所
平市長橋町尼子橋際　電1362

父兄が一日入學

平二小で實施　童心にかえり勉強

從来各小中学校では父兄に教育の関心を持たせるために授業参観を兼ねて担任教諭との懇談会を催しているが、平市第二小学校（校長湯山啓二氏）では父兄に新しい教育を確認し理解して貰おうと昨五日「保護者の一日入学生」という県下でも珍らしいケースの行事を実施した。

◉…二小二年生二百七十八名のうち七十余名の父兄（男八、女六十二）は午前十一時二十分児童と同じく胸に名札を付けて、ノート、鉛筆、雑布などの学用品を持つて登校、講堂で入学式を行つた。

◉…まず授業を参観したのち児童と一緒に国語、算数、音楽、体育（徒手、ダンス等）の授業を各十五分間に亘り勉強、終業のベルと共にお掃除が始まる。

◉…お母さん方達は掃除はお手のものと大張切りで子供達に指導していたが、お父さん達はかえつて子供達に教えられテレる有様、教室の清掃後は湯山校長から二年生の学習指導と生活指導の講話があつて午後四時半なごやかなうちに卒業式が行われた。

◉…螢の光窓の雪を斎唱、一日入学生らは幾十年振りかで童心にかえり、楽しい一日を送つた。

【写真は児童と共に清掃する一日入学生】

酒トラック一台流す

運轉手ら三名重傷

けさ御齊所峠で谷に轉落

六日朝六時ごろ遠野町大平地内石川街道の御斉所峠で、平に来る途中だつた会津喜多方市のほまれ酒造会社のトラック＝運転手高橋君雄さん(三五)＝は酒を満載したまゝ、深さ三十㍍の谷底に転落、高橋運転手と同乗していた助手の小倉義明さん(一九)同瓜生正喜さん(二三)の三名はいずれも全治二カ月の重傷を負い、満載した酒は勿論トラックも大破した。原因と損害は勿来署で調査中。

奇蹟的に助かる

娘が列車に飛込み

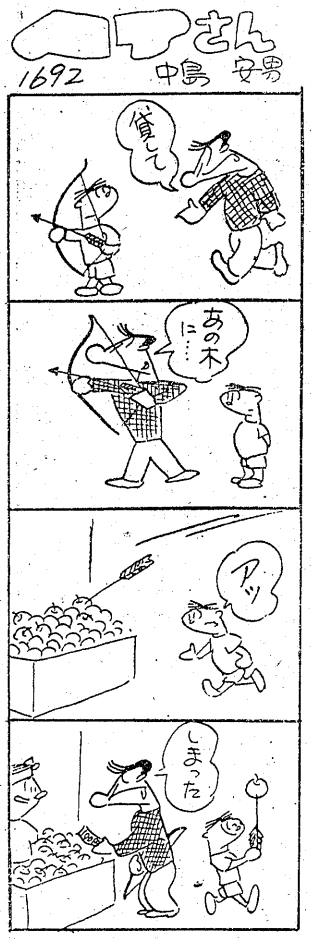
五日午後二時ごろ川前村字山下谷トンネルで三和村字中三坂農業折内トミ子さん(一九)は磐越東線上り五一六列車に飛び込み自殺を図つたが、列車の勢いに押されて手にカスリ傷を負つただけで奇蹟的に助かつた。折内さんは神経衰弱でトンネルの上から飛び込もうと思つたが間に合わず、進行中の列車の横から飛び込んだが、約一米半位はねとばされ左手にカスリ傷を負つただけで気絶しているのを検視に行つた平署員に助けられたもの。

赤痢　常磐市上浅貝字長倉七二　常磐炭鉱磐崎住宅一二六にれ林平さん長女信子ちゃん(一二)は三日真性赤痢で隔離された。

疫痢で死亡　好間村大字上好間字田代六九岩丸静子ちゃん(三ツ)は疫痢で五日死亡した。

藤原川河口に貸ボート

磐城市栄町山口條吉さんは観光地として最近脚光を浴びて来た同市芳川地内藤原川河口に貸ボートを経営したいとこの程平土木事務所に河川工作物設置許可申請を提出した。願出によると長さ五十米、巾三十米約千五百平方米を五カ年間利用したいと云うもの。

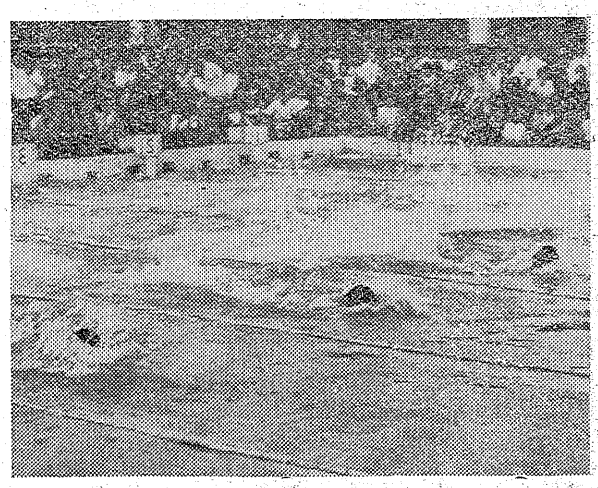


南極探檢隊員に

磐城市の羽形さん選ばる

海上保安庁から抜てきされて南極探検調査船宗谷（二・二〇七トン）に乗組む人が磐城市にいる。小名浜海上保安部巡視船あさちどり衣糧長三等海上保安士羽形昭一さん(二九)で＝磐城市船引場＝で一日付で第三管区（横浜）海上保安本部所属の宗谷乗組員に配置換えになつたもの。羽形さんは塩釜市土城入字二生れ〃旧海軍経理学校衣糧術練習生出身〃去る二十九年あさちどり衣糧長として着任満二年一カ月勤めた家庭は妻の美惠子さん(二五)に長男健一ちゃん(一ツ)の三人暮し、羽形さんは南方はシンガポールまで行つたことがあり南極探検にはぜひ参加したいと願つていたがこれが実現して本当に嬉しい〃十日ごろ小名浜を発ちたい〃東京で乗組員の講習をうけるが宗谷が第一次南極探検に向うのは今年の十一月上旬ごろになるだろう」と語つていた。

【写真は羽形保安官】



日本人に好意的

齋藤氏、獨逸から歸る

日本炭鉱労働者の代表として渡欧中の常炭鉱斎藤茂雄委員長からの第二報が、五月二十六日西ドイツの首都ボンから「働く点ではドイツ人より日本人の方が上です」と寄せられた。（以下要約）

私は至極元気で会議終了後見馴れぬ欧洲を少しでもこの目で勉強しようと一生懸命です。首都ボンに向う車中はとても清潔で整然としてドイツ人の国民性がうかがわれます。思いなしか日本人にはとても好意的です。明日はボフンにゆきます。そこはザール炭田の中心地で組合もあり、六月二日までゆつくりと坑内外の施設を見学、組合運動を勉強したいと思つています。二日の午後はベルギーのブラツセルにゆき炭鉱を視察する予定です。ドイツ人は、ヨーロツパのなかでも一番感じよく働くことに於いても一番だそうです。しかし働く点ではまだまだ日本人より劣ります。おそらく日本人が世界一だと私は見てとりました。

十日に大會

常炭鑛主婦連

常炭鉱主婦連合会の第二回定期大会は十日午前十時四十分から炭労会舘で開き、三十年度経過報告、三十一年度予算と活動方針の審議を行つたのち、役員改選を行う。

持込れた十七件

人權相談中の難問題

人権擁護週間にちなみ平人権擁護委員協議会、平法務局では一日から五日の間に管内五カ所に人権相談所を設け広く一般の人権問題の相談を受けた。難問題が圧倒的に多く総数十七件のうち十件を含めた離婚も女性側からの相談が多く母親からその実情をうつたえるものが多かつた。法務局ではこれらの実態を調査したうえで適当な指導に乗り出すことになつたが、基本的人権が侵害されていると思う人はどしどし相談に来て下さい、と係では話している。

A子さん(四〇)の場合は死んだ姉に代りオイ等四人の為にもと、いやがる父に強いられ義兄と縁を組み三人の子供が生れたが、夫が死亡すると先妻の子長男(三三)が病気で倒れた義母のA子さんに「遊んでいる者は食べるな」とあたり飯も与えず、更に同じ屋根の下で生活しながら家具一切に手をつけさせず義弟の三人には学費小使も一銭も出さず生活苦のため病をいとわず子供のためと働いているが、義理の子だとはいえ実の子以上に育てて来たんだ。あまりにもひどすぎると某相談所に泣きつき、係官も本当の話なら相当あくどいものだと話していた。

離婚の場合は本人直接でなく、母親が娘可愛いさから婚家で病に倒れたとはいえあまりにもひどすぎる。離婚するにも持つて行つた家具も返してもらいたいし、更にそれ相当の事もしてもらいたい、良い方法があつたらその相談だつた。

揚土プール開き

平一中のプール開きは五日午後二時から揚土プールで行われた。一中、一小始め平工、磐高の各水泳クラブ員など七十名出席、修抜式に続き、日本水泳連盟の藤森、白土両氏の模範水泳があつて基本遊泳に終始し、午後三時半閉会したこの日水温十九度と天候も夏型とあつて絶好の水泳日和りに惠ぐまれ、プールの水しぶきも涼し気だつた。

【写真は揚土プール開き】

勿來團長會議

勿来支部消防團長会議は四日十時から勿来署会議室で開かれ、三十年度の事業経過報告三十一年度予算並に事業計画を審議した結果殆んど原案通り可決した。なお来る八月二十一日県主催で行われるポンプ操法競技大会に出場する勿来支部の予選大会は八月十五、六日ごろ催す事に決定を見た。

分讓宅地を競賣

磐城市では都市計画事業に伴う第一土地区画整理地内の土地を競売することになつた。分譲地は川原地内（諏訪神社うら）の宅地七十六坪二カ所と七十三坪の計三カ所入札は六日午前九時より市役所会議室で行い同十一時に開札。

離職金を支拂う

石炭鉱業整備事業團では買上げ第四号の茨城県玉川町東亜炭鉱のもと従業員三十八名に、八日離職金三十八万二百六十九円を支払う。

燒酎黨に福音！
燒酎　正一合　通し付　ブドー割、梅割　三五圓
梅雨どきのうつとうしさを追払うには燒酎が第一！
さかえ食堂のブドー割、梅割の一杯は明日への原動力！
昼夜食堂　さかえ食堂
平駅前電九八八

専賣特許　能率風呂　野内商會
平四電一二〇七八

きつと御気に召す！
☆時計
☆コロムビア ビクター ラジオ・電畜
☆各社レコード
☆樂器 全般
☆電氣洗濯機 ミキサー
◉有名品揃いです◉
金光堂
平5丁目電195番

快適な乗心地　皆様の自家用
平タクシー　電一〇七一

文化の尖端を行くオートメーション式による
ソフトクリーム
☆うな丼　蒲燒を始めました
お食事のデパート　不二屋
平市中央通り電八八六・一七五〇

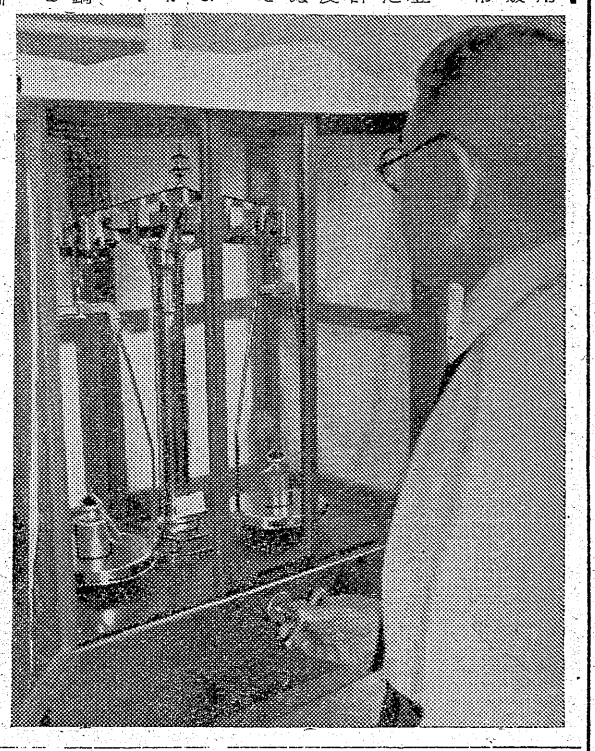
PEARL
ビールの王様
キリン生ビール
アイスクリーム冷し支那そば
レストラン　パール
平市三田小路　電一三八八

開店
現像、燒付、引伸のサービスの店として六日開店いたしました。なにとぞ、お引立のほどをお願いいたします。
なお、近日中に貸暗室の設備を整えて、皆さまへのサービスといたします。
現像と引伸の店　くわな
桑名房之助
平市二丁目西村横町

文化

われわれが日常使用している計量器を販売している店は平市内に四十二軒ある。これらの店は全部登録制により県に登録し、ただはかり、分銅、おもり、力計及び繊度計の販売は試験制度となつており、資格をもたぬと取扱われないことになつている。ところで平市では只一人の計量器の検査取扱指導などを行う計量士八島忠次氏から明七日の計量記念日に就いて語つて貰つた。

【写真は天秤を測定する分銅を調べる基準天秤をあやつる八島計量士】



あす計量記念日

34年からメートル法使用
今年は切替えに對する準備の年

歴史は古し 度量衡制度

◇…わが国の度量衡制度は古い歴史を有し、大宝二年、唐の制度に準じ制令の発布に始まり書民、徳川時代に量衡の制度を厳にし桝座秤座の制を設け、明治三年六月正院より度量衡に関する調査を各省に下問調査の結果、明治八年八月太政官より度量衡取締條例並に度量衡検査規則が発布せられ、桝座秤座を廃し、全国各地に度量衡制作請負人を許可し、検定を受けし め合格したる品物に印を附し、販売せしめ、これが販売制度の始りで明治十九年万国メートル法條約に加盟し、これがメートル法の第一歩であつた。明治二十三年第一回帝国議会の審議を経て翌二十四年三月二十三日法律第三号を以て公布、度量は尺、衡は貫を以て基本となす。これが「尺貫法、度量衡の始まり」その後幾多の変遷を経て大正十年四月十一日法律第七十一号を以てメートル法専用の公布となり、以来四月十一日を「メートル法記念日」を定め実施してきましたが、考る二十六年六月七日法律第二〇七号を以て度量衡法が改正され、「旧度量法改正計量法」として誕生したので、その日を「六月七日」計量記念日と名づけたのです。

『慣れる準備が必要』

◇…旧度量衡法を一大改革し、従来慣れ親しまれた尺貫法も昭和三十三年限りで取引上には（一部を除く）使用出来なくなり、昭和三十四年からはメートル法を使用することになるのですが、そこであと三年である。三年というとまだ相当の月日があるように思うかも知れないが、しかし国内全般に沢山の計量単位が雑然として使用されている現状からみて、長い間慣れ親しんで来たのを万事メートル法一本に統一するためにはいろいろの準備が必要である。メートル法計量器の設備取引の建値の決め専用実施をするかどうか、実は政府の具体的方針に不安を感じていたのであるが、政府でもいよいよ本腰を入れて準備をすることに決定した旨を傳えているので、すでに国法をもつて施行を命ぜられたのであるから、これに習熟し、実施しなければならないことは遵法の精神であり、国民として当然の義務でもあるが、しかし準備が不完全のまゝのところを無理に法律を強行するというようなことは、今日の社会においては決して望ましい行き方ではなく、また効果もぎこちなく決して円満に目的を達せられるものではない。まず役所は率先実行して範を示し、その指導行政の妙味を遺憾なく発揮し、われわれ計量人はまた全力をあげて協力をして、国民の間に自然にメートル法について指導啓蒙しなければならないことを自覚する。

◇…「設計と普及の徹底」を昭和三十一年に昭和三十二年には「計量器などの準備を完了」昭和三十三年中には充分「慣れ、親しむ」ということでなければならない。この意味に於て今年はメートル法専用実施準備の一大記念日でもある。

政府も本腰 入れて實施

◇…これまでの経過からわれわれは、昭和三十四年一月一日に断呼専用実施をするかどうか、実は政府の具体的方針に不安を感じていたのであるが、政府でもいよいよ土地台帳などの書換えのような大きな問題もある。そしてこれらの切り換えに要する経費問題があるこれらはほんの一例で完全実施をするとなると莫大な経費を要することゝなるので、しかもこのうえに昭和三十四年一月一日からメートル法でまかなうことができるようにしておくために「慣れる準備」ということが必要であるから月日に余裕のあるところが足りないというのが本当のところである。こんなことを思うにつけて、今年という年は完全実施のための準備に裏に專念しなければならない年であり、また今年こそは法定の期日にメートル法專用が実現させ得るかどうかの試金石の年であると痛切に感ずる。

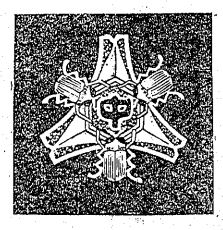
勿來市 中山田小学校

螢雪の功を家徽 協力しあう校風

一、校章制定は第二次昭和二十三年五月五日、第二次昭和二十七年五月五日。

二、作者は考案者が助川光夫製図者が北郷喜二郎。

三、図案の意味は❶周囲の突出部は山田の山と、螢雪の功の燈をかたどつている。❷中の線は山田の田の菱形で、六角にしたのは豊の結晶形にあやかる。六角形の線を複線にしたのは、当校に進む二つの小学校即ち山田小並びに上山田小をあらわしている。しかも二本の線で中学校の中の字を仲良く囲んでいる姿になつている。❸総体的に解説すれば、山田小と上山田小を夫々卒業して、この好環境に恵まれた山田中学校に進み、仲良く協力し合つて母校のよき校風を生かしつゝ、一心に螢雪の功を積んで、善良有為な公人になり、希望に燃えて社会に出て行く姿を象徴したものである。



平市分會長會議を開く
八日外資同で

昨報 石城福祉事務所では八日午前十時から平市公会堂で引揚者の機会に平市の分会長、班長会議を開き本調査の万全を期すことになつた。

豫防接種
磐城市の日程

磐城市では腸チフス、パラチフス予防注射を次の要領で実施する。三才以上六十才まで、料金一人につき十円、時間は午後一時より三時まで。

▼十二日江名公民館（江名全区）小名浜第一小講堂（汐留、竹町、本町、横町、花畑、第一、第三岡小名、諏訪町、後須、中島、中通、浜町）▼十四日折戸中の作公民館（折戸、中之作）小名浜第二小講堂（南富岡、鹿島、高山、須賀町、西町）▼十五日小名浜湯本組講堂（栄町、東町、古湾、上神白）小名浜高校講堂（芳川、湊、日立、弁別、窪下）。

平鐵適ク諧曲
十日に大會

平鉄道クラブ謡曲部の春季大会は十日午前九時から旧城跡の平安クラブで開催、部員が素謡〃舟弁慶〃など二十四曲を謡う。

今晩のラジオ
6日

◇NHK 三六〇KC
六・四〇 スポーツだより
七・三〇 即興劇場
八・〇〇 落語 春風亭柳橋
九・一五 シンフオニーホール
九・四五 ラジオ喫煙室
一〇・一五 ある日ある時
一〇・四〇 風流歌草紙
◇ラジオ福島 一〇六〇KC
六・五〇 音楽の小箱
七・一五 人情馬鹿物語
七・三〇 演芸甘辛亭
八・〇〇 素人物まねコンクール
八・三〇 浪曲落語
八・五〇 民謡クイズ
九・〇〇 明色アベック歌合戦
九・三〇 花嫁寮集中
一〇・〇五 名作アルバム

民報映画案内

◇平市一七日
★世界館 夜六時五十分
楊貴妃 人情馬鹿
★東映劇場 夜七時十五分
ヒマラヤの醜王 おしどりばやし
★ひかり座 夜六時四五分
死の脱獄者 顔役時代（十一日まで）
★平館 夜六時三十分
女難喜歌 女の足あと
★栄楽館 夜六時四〇分
キツスで殺せ 黒いキツネ（十一日まで）
★民劇 夜六時一〇分
お嬢さんと探偵 幸福はあの星の下に 隠密七生記後篇
◇磐城市小名浜 九日まで
★磐城座 夜六時三〇分
虹いくたび 御用盤異変 お花け繚乱
★金星座 夜六時三〇分
春の湖 栄光とはく走王（七日まで）
★小名浜東映 夜七時
あばれ獅子両肌 二挺拳銃の龍
★銀星座 夜六時三五分
スター誕生 地獄の戦線（八日まで）
★磐映 夜七時
元禄美少年 かりそめのくちびる（七日まで）
◇勿来市植田
★菊多館 雪崩 隠密七生記前篇（七日まで）
★うえた館 女房族は訴える 花と嵐（八日まで）

婦人學級
小名濱で開く

磐城市では次の日割で小名浜公民館日本間に婦人学級を開く。

▼十一日午後六時半より食生活について（小名浜水産高校宮永教諭）▼二十日午後六時半より有害着色食品について（平保健所衛生監視員）

100円均一 貨店
買つたばかりの自転車はピカピカ磨きれいだから、少しでもよごれると掃除する気になる。だが日がたつに従つて掃除とは今縁がなくなつてしまうのが常である。自転車は一年に二度は分解してグリスをつめたり、油をさして手入れしなければ永持ちしない。時計だつて同じこと。「きれいに磨かれた靴を穿いている人間は注意深く用心して泥道をよけて歩くが、一度誤つて踏みはずし、靴を汚したが最後、彼はもう前ほど用心しなくなる。そして更にその靴がすつかり汚れてしまつたのを認めると、もう大胆に泥の中をジヤブジヤブ歩く。」と文豪トルストイはおつしやつているこれは道徳に対するパラブル（たとえ）である。時折、心という車にもグリスを入れなされ。（龍 人）

大谷石 五丁目 井上

いよいよ夏になりました
うちわの御注文は今すぐ
デンワ1295へ御報参上
嘉見家ヨシミヤ
うちわ一ダツチ レンマツ ちヨンガ 広告
平市新川町・（工場）鎌田町

新しいDPは富士

かつぼう 開花

菊一靴店
最高の品質 最低の価格 最豊富な在庫
T・446

DPはタナカ

うちわ
よくてやくそくの出来る注文はさかいや本店
平市六丁目電四八五番

賣住宅一二棟（二戸）
▽いずれも十五坪、風呂場あり▽一戸は新築半年▽場所＝平市旧城跡二ノ（物見ヵ岡下、市川パン店隣）
▽御希望の方は直接お訪ね下さい
姓名在社（一三）

○看護婦家政婦の御用命は
電話三〇七番 平 看護婦 家政婦 幹旋所
労働大臣認可
○親切丁寧な看護婦 家政婦 ご利用下さい
平市南町

電灯・電力工事請負
草野電氣工事株式会社
取締役社長 渡辺由男（草野）
平市旧城跡二一電一五一

万年筆は専門店で…
田嘉年筆店
会員の店
平市三丁目中央通り デンワ三九九バン

外科 整形外科 性病科
内科 胃腸科 呼吸器科 小児科
松村病院
院長 松村亨
財団法人 磐城済世會
平市南町二三
産婦人科 レントゲン科
電話 本院 一〇七 分院 一八九二 一六九六

質
お気軽に ご利用願います
アカトモエ 赤巴
▽となりも 平市四丁目川又呉服店横入 電話九五〇番

耳鼻咽喉科
高柳醫院
高柳博明
平驛前 電一一二

内科 小児科 外科 産婦人科 レントゲン科
前田醫院
院長 前田清美 副院長 前田春雄
勿来市植田本町電話二二四